



中総体を終えて～生徒それぞれの想いは・・・PART3

6月29日から「北中発表会強化期間」が始まっています。どのクラスも9日(金)の発表会に向けて真剣に練習に取り組んでいます。コロナの状況で十分な練習ができないと思いますが、中学校生活最後の合唱ですので、できるだけ精一杯取り組み、達成感を味わってほしいと思っています。

さて、市中総体作文第3弾!今回は3組代表の生徒の作文を掲載します。本人の想いと周りの人へ感謝する気持ちなどが書かれています。全体的に3年生の生徒は心が優しく、周りの人のことを考えようとする生徒が多いです。この中総体で更にその想いが強くなったと感じます。ぜひお読みください。次回は、カケス学級の生徒の作文を掲載します。お楽しみに!



「中総体を終えて」 3年3組 ROさん(卓球部)

分からないことだらけで緊張しながら部活動に参加してから早2年と半年。私は最上級生となり最後の中総体に挑みました。結果としては、個人戦2回戦敗退と、決して良いとは言えない成績でした。しかし、私はこの部活動を通してたくさん学び、たくさんの思い出を作ることができました。その中から2つ、私の印象に残ったことを紹介したいと思います。

1つ目は努力する大切さです。1年生の時には1回戦敗退でとても悔しい思いをしました。そこから次の大会では絶対に勝ちたいと強く思うようになり、努力していった結果、1回だけではありますが勝利をすることができました。その時に、私は努力は絶対に裏切らないということを身を持って体験しました。

2つ目は後輩の大切さです。大会前日にはお守りを作ってくれたり、試合の前は「がんばってください」と応援してくれたり、試合中は拍手をしてくれたり、たくさん私たちを励ましてくれました。1、2年生には心のサポートをしてもらい本当に感謝しかないです。結果は良くなかったですが、私は卓球部に入部して、卓球部として活動できたことが本当に良かったと思うし、お陰でたくさんの思い出を作り学ぶことができました。これからは「受験」と戦っていくので、部活動で学んだ「努力する大切さ」を生かし頑張りたい。

「3年間の宝物」 3年3組 YSさん(テニス部)

昨年は新型コロナウイルスの影響で中止になってしまった中総体。中止になり悔しい思いをした先輩たちの想いも背負い、当日まで部活動に取り組んで来た。

私は正直今までであった朝練や夜練もなくなり練習量のはるかに少なくなってしまうため、不安でいっぱいになっていた。当日になり、中総体当日ということもあって緊張感だけが私を埋め尽くしていた。そして刻々と本番が近づいてきて1回戦目。私が1番恐れていた一番手のジュニアの人と戦うことになってしまい、最初のほうはガチガチで足も震えていた。しかし、先生から「雰囲気は暗いからもっと元気よく思いっきりやってこい!」と声を掛けていただき、緊張がだんだんと解けていき気楽にプレーをすることができた。惜しくも負けてしまったが3ゲームも取ることができ、自分の中では満足する結果となった。その後は仲間たちが勝利を掴み2回戦目に出場することができた。2回戦目は、私は見ているだけだったがすごく中身の濃いプレーに圧倒され強い刺激を受けた。そして、結果は私たちが一番の目標としていた団体戦県大会出場を見事に掴み取ることができた。一緒にプレーした仲間たち、暑い中ずっと応援してくれた仲間から感謝の気持ちを伝えたいと思った。2、3日目の個人戦では3回戦で敗退となってしまったが楽しくプレーできたと思う。私はこの結果に悔いはない。また、1年生が初めてのの中総体でプレッシャーが多い中優勝という結果をくださった。これには本当に感動し改めてすごさを感じた。

最後に、この中総体までの約3年間、上手い出来ないことが何回もあり、ぶつかり合うこともあったが、それでも私は北中女テニで良かったなと思った。3年間の宝物をありがとう。



本日、「第1回進路希望調査」を配付しました。締め切りは8日(木)となります。本人としっかり話し合っただき、現時点での志望をご記入ください。そして、教育相談での話題にさせていただきます。